

令和5年3月3日

上島町教育委員会  
教育長 清水 伸 様

上島町立弓削中学校  
校長 山口 正寿 印

令和4年度 学校関係者評価報告書

- 1 開催日時 令和5年3月2日（木） 19:00～20:00
- 2 参加者 学校運営協議会委員 14名
- 3 協議内容 評価結果・改善方策等、学校側の説明を聞いてからの意見交換・感想

(A委員)

質問項目12番（生徒：困ったことがあったら、家の人や先生に相談しています。4 - 48% 3 - 30% 2 - 16% 1 - 6%）について、（学校側の）説明だと生徒と教員の信頼関係の構築が課題としているが、困ったときに相談できる相手がいるかどうか重要で、家の人と先生に限定したことで質問の趣旨がずれてしまっているのではないか。

(中学校)

困ったときに相談できる存在が必ずしも先生や家の人でなくとも、その存在がまずあるかどうか大切であると言われるとおりである。生徒との信頼関係の構築は学校側の課題と認識しており、先生がその存在の一人となり得るように努めたい。次年度以降の評価指標文についても検討したい。

(B委員)

質問項目にはないが、様々な理由から学校に足が向かない生徒がいることを聞いている。例え登校できなくても、何らかの方法で学習できる態勢ができているのか知りたい。

(中学校)

現在、中学校には毎日の登校が難しい生徒が複数名存在する。その理由は、集団生活になじみにくいか学習への苦手意識が大きいなど様々である。学校としては家庭においても可能な限り学習できる環境を整えるために、オンラインで授業が受けられるような取組を進めているが、生徒の学習意欲や家庭生活の状況などから生徒側も積極的とは言えず、効果は限定的である。また、対象生徒への個別の対応も教師と生徒のスケジュールを合わせるのが難しく苦慮している。

ICT機器の更なる効果的な活用を進め、対象生徒への働きかけも行いながら個別の

学びの充実化を図りたい。

(C委員)

小学校では弓削商船高等専門学校生のボランティア活動として、週に数回、小学生の学習に携わっているということであるが、中学校との関わりはどうか。

(中学校)

中学校では弓削商船高等専門学校の専門性を生かした出前授業を今年度1回実施していただいた。

(A委員)

(A委員は弓削商船高等専門学校の教授であることから)本校では、ボランティア活動を単位化している。そのため生徒にボランティア活動を提供する必要もあり学校からの依頼は歓迎である。今年度の出前授業は、プログラミング講座で、教師役を生徒が担って行った。上島町内の他の小中学校でも複数回実施した。要望があれば可能な限り協力したい。